

地球環境と世界市民

EARTH ENVIRONMENT AND GLOBAL CITIZEN

「地球環境と世界市民」国際協会・第5回大会のご案内

本協会では来る8月21日(水)、22日(木)に第5回大会および総会を甲南大学環境教育野外施設にて開催いたします。

21日の1日目には、「地球環境と世界市民」に関する研究発表や特別講演、農作業などのワークショップを行ないます。また、ご好評いただいておりますエコクッキングの講習会も実施いたします。環境教育野外施設の無農薬有機野菜を収穫し、それらを使って、安全でおいしい料理を参加者の皆様と一緒に作る予定です。エコクッキングでつくった料理は、懇親会で試食いたします。

22日の2日目には、自然散策や水生動物の観察、そしてラウンドテーブル・シンポジウム「21世紀の時代精神 - 環境と生命 -」を行ないます。

多数のご参加をお待ちしております。

日時：2002年8月21日(水)～22日(木)

場所：甲南大学環境教育野外施設

主催：「地球環境と世界市民」国際協会

共催：日本環境教育学会関西支部

後援：日本環境教育学会

プログラム

8月21日(水)

- 10:30 受付：甲南大学環境教育野外施設1階
- 10:30～12:30 研究発表(1人30分、2分科会):2日間同時並行パネル展示
- 12:30～13:20 昼休み(理事会:12:20～12:50)
- 13:20～13:50 あいさつ:「地球環境と世界市民」国際協会・会長 谷口 文章
総会
- 13:50～14:00 休憩
- 14:00～15:00 特別講演「21世紀の地球環境と生命をめぐって」
谷口文章
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～16:10 ワークショップ 「有機野菜の収穫体験」
岡田泰典、高原哲史、桔梗佑子、松田拓也
(環境教育カウンセラー)

- 16:10 ~ 18:30 ワークショップ 「夏野菜を使ったエコクッキング」
(懇親会で試食)
赤尾多美(エコクッキング・インストラクター)
谷口ひろこ(エコクッキング・インストラクター)
小山真輔、藤井孝明、大村礼子
(エコクッキング・アシスタント)
同時に「竹のコップと箸づくり」: 参加者全員
懇親会
- 18:45 ~

8月22日(木)

- 10:00 ~ 12:00 ワークショップ 「自然と親しむ散策時間」
各自自由行動(希望者はネイチャアゲーム)
山田悦子(ネイチャアゲーム・インストラクター)
- 12:00 ~ 13:00 昼食
- 13:00 ~ 14:30 ワークショップ [日本環境教育学会関西支部ワークショップ]
「広野のビオトープと水生動物の観察」
赤尾整志(全国ビオトープネットワーク副会長)
本庄 眞(香芝市立真美ヶ丘東小学校教諭)
- 14:30 ~ 17:00 ラウンドテーブル・シンポジウム
「21世紀の時代精神 - 環境と生命 - 」
コーディネーター: 谷口文章(甲南大学教授)
シンポジスト:
谷莊吉(はやしやまクリニック名誉院長):「生命の視点から」
今井佐金吾(広島修道大学教授):「科学の視点から」
近藤靖宏(甲南学園顧問):「教育の視点から」
渡邊隆俊(愛知学院大学講師):「情報の視点から」
- 17:00 あいさつ(閉会)

申し込み方法

- 1) 8月24日、25日の両日か、いずれか1日参加か
 - 2) 名前、所属、連絡先、電話、FAX番号、E-mail
 - 3) 懇親会の参加・不参加
 - 4) 甲南大学環境教育野外施設(広野)に宿泊するかどうか
- 以上をご記入の上、8月17日(土)必着で事務局までお葉書かE-mailでお申込みください。
- 参加費: 各1日 一般2,000円(学生1,000円)
昼食代、ワークショップ、懇親会代含む
- 宿泊費: 一般2,000円(学生1,500円)
- 初日(21日)のみ参加で、懇親会に参加される方は一般1,500円(学生500円)

研究発表をご希望の方は、8月15日(木)までに、600字程度のレジюмеをE-mailもしくはFAX かお手紙で、下記事務局までお送りください。

「地球環境と世界市民」国際協会事務局

〒658 8501 神戸市東灘区岡本8 9 1 甲南大学文学部 谷口研究室気付
TEL/FAX : 078 - 435 - 2368 , E-mail : fumiaki@konan-u.ac.jp



環境教育野外施設への案内
神戸電鉄新開地駅より粟生線・
緑ヶ丘駅下車
タクシー利用：900円程度
(徒歩約25分)
TEL : 078 - 965 - 0263
(施設管理人室)

神戸市水環境センター(東灘区)における ビオトープづくり参加のご案内

2002年度から2003年度にかけて、神戸市建設局東部建設事務所「水環境センター」内に市民参加型のビオトープ製作を計画しています。



水辺の遊歩道・うおざき



ビオトープ予定地

これまで、水環境センターは「市民に親しまれる下水道」を目標として、周辺の住民にセンターの一部を開放し、魚崎運河沿いに花壇づくりや植樹をおこない、平成13年8月に「水辺の遊歩道・うおざき」が完成しています。現在、神戸市民の憩いの場として活用されています。

今回、甲南大学と協力して、ビオトープの創造を通じて生態系の回復を図り、花や野菜などを植える環境教育の場所として、水環境センターの有効活用を予定しています。高度処理した水によるビオトープと小川の流れ、またビオトープ公

園の中心に噴水などを製作することで、それらが奏でる音は、市民の安息の場をつくることを予定しております。



水環境センター見取り図

今年度はビオトープづくりの基本計画を作成します。新しいアイデアも積極的に取り入れていく予定です。そこで会員の皆様のアイデアの提案、製作・協力へのご参加をお待ちしております。

参加を希望される方は、下記事務局までお問い合わせください。

事務局：〒658 8501 神戸市東灘区岡本8 9 1 甲南大学文学部谷口研究室気付
TEL/FAX：078-435-2368 E-mail：fumiaki@konan-u.ac.jp

ネットワーク掲示板

9/15

水環境フェア2002のご案内

「市民と共に歩む下水道を目指して」

日時：2002年9月15日（日）

会場：神戸市建設局東部建設事務所水環境センター

（神戸市東灘区魚崎南町2-1-23 TEL：078-451-0456）

阪神魚崎駅より徒歩約20分

主催：神戸市

共催：東部水環境センター、経営管理課

後援：日本下水道事業団、地球環境と世界市民国際協会、環境教育学会関西支部

10:00～11:30 親子写生会（下水道事業団共催）

13:00～16:30 フェア

オープニングセレモニー：プラスバンド・バトントアリング

処理場見学会、スタンプラリー、下水処理教室、ビデオ上映会

水とふれあうコーナー：金魚すくい等、

スポーツチャレンジコーナー、ちびっこ広場、マジックバルーン、

ボート競走・体験乗艇、出店、フリーマーケット など

先着 500 名様に粗品進呈

レガッタ競争もおこないますので、参加ご希望の方は、6 人一組の上、水環境センターにお申込みください。

詳細につきましては、水環境センターにお問い合わせください。

TEL : 078-451-0456

市民 REPORT

振り返ってみて思うこと

熊澤峻子（桂川・最上川流域協議会）

昨年を除き毎年5月になると私の忙しい日々が来る。大学の研究室にも所属せず、また市民活動家の様にフィールドを持って実践活動をしていない私が環境教育学会の研究発表を前に1年の活動の集体系をするが、不足ばかりが目につき直前まで悩まされ続けるのが現実である。

忙殺した毎日の中で、街の中や駅の構内が整備されているのを発見して驚かされる時がある。これはワールドサッカーのせいばかりではなさそうである。嘗ては駅の構内やまち角に無造作に捨てられている缶や瓶、ビニール袋等の山。またポイ捨てを平気とする光景が日常茶飯事であり、拾っても拾っても気の遠くなる程ゴミがなくならなかった。最近分別収集が一般的になって駅の構内や商店の軒先に分別BOXが並べられ散らかったゴミも余り目に止まらなくなった。私のゴミ問題の原点は、やはり平成3年度横浜市政へ「女性の目で見たまちづくり」の提言にある。人口330万人巨大都市横浜のゴミ問題のネックは、何処が主体になるかであった。結果から費用の点でも、人材を動かす組織力からも行政主導で出発したから、このマンモス都市を整備できたのだと今も思っている。分別収集による減量化、資源化を提言してから11年。皆で作成した論文の濃い中身は現在十分に詳細に渡って生かされている。当時の人材も自分に合った活動をしているはずである。

総合学習が今年度から小・中学校で始まった。学校は地域を取り込み地域の伝統文化をお年寄りから子供達へ伝授する中で年寄りを大切にする気持ちが芽生え始めていると聞く。多摩川沿いの小学校では、総合学習に「水辺の楽校」で、川の自然体験を通して命の尊さを学んでいる。総合学習から命の問題は解決するものではないとも言われているが、事例報告をTVで興味深く見ているが、授業中普段見られない生徒の姿を先生は発見をしているはずである。この体験は決して無駄にならないと確信している。週休2日制のゆとり教育も始まったが、学力低下を心配してかこの休みを補習授業に当てている学校も出て来て、現状は色々問題を抱えている様である。しかし新しい教育改革は子供達に可能性のある活動の場を多く提供してくれているのではないか。この中から将来有能な人材を如何に多く排出するかで教育改革の真価が問われるのだと思うが、人間的に心豊かな人材こそ期待すべきではないかと考えている。

今桂川・相模川流域協議会に所属しているが、平成7年度に横浜市政へ市民・行政・事業者の三者が一体になって実践する市民参画の河川事業を女性アドバイザー

で提案した。国の機関も入っての三者一体でアジェンダ21の環境保全の行動計画を策定し、事業活動としては、環境ホルモン調査、洗剤についてのアンケート調査等に際し、これ等専門家を呼んで話を聞く学習会をしてきた。また川をよく知るためのツアー＆ウォッチングを2ヶ月に1回実施し、楽しく桂川と相模川との地域の文化交流も深めている。この間新たな地域協議会が桂川東部と湘南に誕生させた。それぞれシンポジウムの会場にして一般市民を呼び寄せ、流域協議会を宣伝している。

またクリーンキャンペーン等で地域の活性化に励んでいる。特に山梨県の桂川に拘わっている会員は、横浜市に安全で美味しい飲み水を供給しようと森づくりに専念し始めた。横浜も地域協議会を今年度中に立ち上げる予定である。多摩川市民フォーラムでは多摩川を「飲める水」にして子供達が安心して泳げるようにしようと「水流実態解明プロジェクト」を立ち上げた。下水道の高度処理を含め本格的に「飲める水」の研究を始めている。河川の水質をBODと底生生物を使って興味ある調査結果を出している。モニター調査や「生きもの研究会」、「カワラノギクの保存」等に参加して多摩川の自然を知る上に於いて大変勉強になっている。リバースクールでは東京湾に注ぐ河口近くに大きな干潟を発見して驚いたり、干潟にシギ、チドリ、カモメ等が餌を食べているのを見ていると1日いても飽きない程である。また羽村取水堰から玉川兄弟により多摩川の水を43kmも江戸時代に引かれた玉川上水を散策していた頃は、テロ後の胆素菌で全米が震撼していた時であり何の防御策もしていない上水を心配したものである。紅葉時期の多摩川の源流へ1泊2日の自然観察旅行は多摩川の自然の雄大さに圧倒された。白滝、雄滝、標高1953mの多摩川、富士川、荒川の分水嶺、水干へ土砂降りの雨に濡れながら、この一滴が138kmの河口まで流れるかと思うと感無量であった。多摩川のリバー・ウォッチングはまだ続く。アケボノクジの化石、アケボノゾウの足跡の化石（この手伝いにも行く）のある多摩川はまさに水系まるごと博物館と言ってよい。現在多摩川流域リバーミュージアム構想の実現に向けて整備している。

今年の仙台の学会ではリアルタイムでITを使って「生き物調査」をする講習を受けた。赤とんぼやガン・カモの調査が子供達によりリアルタイムで送られて来る日も近いと思うとワクワクしてくる。はや思いは既に来年へ・・・。

トピックス

甲南21クリエイティブ・プラン優秀企画賞受賞

「甲南大学における循環型コミュニティの創造と

パートナーシップ」

甲南21クリエイティブ・プラン代表 松田拓也（甲南大学4年生）

6月29日に甲南大学で「甲南21クリエイティブ・プラン」の授賞式がありました。「甲南21クリエイティブ・プラン」とは学生の活性化をはかるとともに、学生の社会参加、地域社会への貢献活動を促すこと目的とした、学生自身の手による学内、学

外でのボランティア活動およびコミュニティ事業、ベンチャー事業などを企画し、運営するプロジェクト案を募集するものです。

そこで私たち甲南大学文学部人間科学科谷口ゼミは「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」と題した企画で優秀企画賞をいただきました。

この企画は4つのプランを柱に活動します。まず、プラン「大学・大学生協・管財課・情報教育センター・対馬造園とのパートナーシップ」の継続と推進を展開します。次にプラン「甲南大学広野野外施設近隣における地域の人々とのパートナーシップ」を組んで活動します。プラン「甲南幼稚園・甲南小学校・甲南中高・甲南女子中高・魚崎小学校・魚崎中学校とのパートナーシップ」を組んで活動します。最後にプラン「タイ・中国・カナダ・イギリス・ネパールとのグローバルなパートナーシップ」を組んで活動します。

具体的にプランとして大学内のゴミの4分別の徹底化やリサイクル容器の使用を推進、裏紙の再利用、学内に花を植え花壇をつくる運動などを行っています。プランではパーマカルチュアの実現を目的として大学の野外施設で農作業を行っています。パーマカルチュアとは伝統的農業や生活にみられる、優れた知恵を使い持続可能な農業と倫理的な土地活用によって公害や自然破壊を伴わない循環型社会を実現することです。この農作業は地域の小・中・高校生と一緒にを行っています。この活動は環境教育カウンセラーの養成にもつながると考えています。

また地域の小・中・高校生や「地球環境と世界市民」国際協会員や日本環境教育学会関西支部員と一緒に兵庫県神戸市建設局東部建設事務所「水環境センター」内に製作予定のピオトープのアイデア・製作の協力を考えています。

プランでは甲南大学において中国・北京大学との国際学生会議、中国・北京大学を訪問して学生会議「環境教育と環境倫理」に参加することを考えています。また、すでにパートナーシップを結んでいるタイ・中国・カナダだけでなくさらにイギリスやネパールとのネットワーク化を進め情報交流することを考えています。

こうした活動をとおして甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップを構築したいと考えています。

エコ・クッキング レシピVOL. 6

赤尾多美、谷口ひろこ（エコクッキング・インストラクター）

バナナの冷夏 キャラメリゼ添え ~冷たいお菓子で夏を乗り切ろう~

材料

デザート

バナナ（完熟） 220 g、シロップ（水 120 g、グラニュー糖 120 g）、ラム酒 20 g、レモン半個分、

バナナのキャラメリゼ

バター 7 g、グラニュー糖 15 g、バナナ 1本

バナナは少し、柔らかくなったものでもOKです。

作り方

1. バナナをピューレ状にし、レモンをふりかける。
2. シロップを作り冷まし、1と合わせる。
3. 2にラム酒とレモン汁を加える。
4. 冷凍庫で固める。
5. 固まったら、冷凍庫から出し、混ぜて空気を入れ、冷凍庫に再び戻す。これを4～5回繰り返す。(アイスクリームを作る要領)。
6. バナナのキャラメリゼはバナナを輪切りにし、小さい鍋にバターとグラニュー等をいれ、焦がして(さわらない)バナナを入れ、混ぜてからめる。
7. 器にいれ、バナナのキャラメリゼを添える。
暑い夏に、少し手をかけて、おいしいデザートを作りましょう。

事務局だより

盛夏の候、会員の皆さまにおかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では昨年度より基盤整備及びその見直しのため、一時、会員の皆さまへのニュースレター等の頒布及び広報活動が滞っておりました。御迷惑をお掛け致しましたこと心よりお詫び申し上げます。

なお、気持ちを新たにしながら、今までの活動をより一層充実した形で展開していきたく存じますので、今後とも相変わりにませずお力添えの程お願い申し上げます。

また、今回本誌でご案内させていただきましてとおり、第5回大会を予定しております。御多用のこととは存じますが、ぜひ御参加ください。

年報第3号の発行についてですが、秋季には会員の皆さまの御手許に届くよう、現在編集作業をしております。いましばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

.....

編集後記

投稿先、連絡先は下記の事務局までFAXかE-mailにて22字×75行程度(1ページ分)でお願いいたします。写真なども掲載可能ですので、コミュニケーションの場としてご活用ください。下記のホームページにも最新の情報を掲載しておりますので、ご参考にしてください。

「地球環境と世界市民」国際協会ニュースレター No. 7

事務局：「地球環境と世界市民」国際協会

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室内

Tel/Fax.078-435-2368 E-mail: fumiaki@konan-u.ac.jp

Homepage: http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg_j.html